

NBC 訓練が

ありました



NBCとは核・生物・化学物質をさすそうです。二月三日、旗の台駅南改札口構内に、ペットボトルに入った液体(サリン)を置かれたことを想定した合同訓練が行われました。周辺町会にも呼びかけられ大勢の見学がありました。

駅職員の一〇通報↓警視庁↓荏原警察署↓NBC隊・消防隊・ハイパーレスキュー隊へと対処が進み、倒れた方や具合が悪くなった駅職員の救急対応・搬送・除染作業が訓練されました。

NBC隊から、このような事件に遭遇した時には、集団心理に惑わされずに、他に避難路はないか、周りを見渡すと良いと、危機回避のアドバイスもありました。その後、消防隊から



AEDの実演も行われました。



現場の状況を調査!!

倒れた方を救急対応!



見て歩記

中途失調・難聴者 サポーター養成講座

地域内にある心身障害者福祉会館にて「聞こえにくい悩みを持った方の支援方法を学び、関わりの中で役立ててみませんか?」という区のお知らせを見て取材させていただきました。

講座の内容は全八回あり、伺った日は第三回目で、テーマは「筆談・要約筆記のコツを学ぼう」でした。

磁気ループの体験

難聴者の聞こえを支援する設備で音声磁場をつくり、補聴器や人工内耳の装用者には周りの雑音を遮断し、マイクを通して鮮明な音声が届くという体験をしました。

文字情報の必要性

街の中にはさまざまな文字情報があり「テレビの字幕、電光ニュース、その他」難聴者はもちろん、これからの自分たちにも必要不可欠だと思います。

その他、手話講習会・朗読講習会・点字講習会等の講座もあります。区報、地域のお知らせを確認をして、講習を受けた後にボランティア活動をしてみませんか。



平成27年度(第49回)

中学生の「税についての作文」



☆荏原納税貯蓄組合連合会会長賞

- 荏原第六中学校 中村 悠里 さん
- 荏原第六中学校 佐藤 志帆 さん
- 荏原第五中学校 佐藤 遥紀 さん
- 荏原第五中学校 内田 帆夏 さん

これは次代を担う中学生の皆さんが、税を題材とした作文を書くことを通じて、税に対する関心を一層深めていただきたいという趣旨で、昭和37年度から毎年実施しているものです。本年度東京都内695校から77,703編の作文が寄せられました。

たばこ税から健康税へ

荏原第六中学校 中村 悠里



授業でたばこ税のことを知ったとき、もつと税率を上げても良いのではないかと思いました。

現在日本ではたばこを吸っている人は約二千五十九万人、集まっているたばこ税は年間約九億円だときいたのですが

全国に喫煙による病気の患者専門の病院があつたら、それらの病院にかかる税金は年間九億円では絶対に足りないと思います。たばこの害は喫煙者本人だけでなく、家族や友人など周りの人々にも及びます。そうすると喫煙者は約二千五十九万人でも、その何倍もの方がたばこによる病気になる危険に晒されていることになり、実際に病気になる人は一年で喫煙者数と同じくらいまでのぼってしまうのではないかと思うからです。たばこは体に悪いものなのに、たばこのために他の税金を使ったりの国の借金を増やしたりするのはとてももったいないことだと感じました。

たばこ税をあげればたばこを買うのに今よりもつとお金がかかるようになるので、買うのをためらう人が増えると思います。買う人が減って喫煙者が減れば、たばこによって病気になる人も減り、現在

病院のためにかかっている税金を減らすことができます。

しかし、体に悪いのはたばこだけではありません。ハンガリーにポテトチップス税があるように、ポテトチップスやチョコレートも体にはよくありません。だから、これらの食べ過ぎたり飲み過ぎたりすると健康に害のある食べ物、飲み物に、日本でも税を課すのも良いと思います。これらの飲食物は多くの人が買うので、少しずつ税をつければたくさんのお金が集まります。菓子や清涼飲料などをストレスの解消などのために必要としている人もいると思います。健康に悪い影響を与えるものほど高く、累進課税のよ

うに税を課せば、自分で調節しながら少しずつ体に悪くないものをとれるようになっていくと思います。これら二種類のものを合わせて、健康に悪いものにかかる「健康税」のようなものを

第15回 品川区

中学生の主張大会

平成27年12月12日スクエア荏原にて中学生の主張大会が開催されました。本大会は、平成12年から毎年地区委員会連合会が主催していて、中学生の自立・社会性を育てることを目的とし、好評を得ています。



☆奨励賞

- 荏原第五中学校 大森 怜香 さん
- 荏原第六中学校 大沢 ケネット さん

